



洗濯ジャーナル

お洗濯の
知識と情報

平成17年7月

VOL. 1 2

発行元

クリーニングつき山

〒 617-0005 京都府向日市向日町南山十

Tel 075-921-0426 Fax 075-935-5065

<http://www.cl-tsukiyama.com>

監修

サボリ博士

<http://sabori.fc2web.com/>

クリーニングよろず相談

<http://www.azaq-net.com/bbs/>

ここに掲載した内容の著作権は発行元・著者
にあり、無断転載・転用は、著作権の侵害となる為、固くお断りいたします。

【柔軟剤】

衣類は、着用・洗濯・保管を繰り返します。このサイクルをかさねるごとに、衣類の風合い・肌触りは劣化していきます。肌着などでは、洗濯を10回繰り返すと、購入時の繊維のふくらみが約2/3程度にまで低下します。

この原因として

着用・洗濯・乾燥による、繊維の損傷・脆弱化
繊維の、加工剤や仕上げ剤の脱落
おもに、この2点が上げられます。

これに関して、は衣類の使用頻度が増すことはさけられず、風合いの低下を防ぐことは難しいです。

について、脱落した加工剤や仕上げ剤を、洗濯時の柔軟剤で回復させることが可能です。

《なぜ、柔軟仕上げ》

人は、肌の感覚でリラックスしたり、逆に緊張することもあります。ある実験です。洗剤で洗っただけのタオルと柔軟剤を使用したタオルそして糊付けしたタオルで、それぞれ汗をふいてもらい、その時の心拍の間隔を測定しました。

この結果、柔軟剤を使用したタオルでふいたときが、最もリラックスしていました。そして、糊付けされたタオルでは、緊張度が高い結果がでました。

私たちは、長時間衣類と接しています。どのような衣類を選ぶかは、快適で健康な生活をおくる、大切なポイントとなります。

《柔軟剤の効果》

柔軟剤には、次のような効果があります。

ふっくらとしなやかになる。

ソフトさを高める

静電防止効果がある

また、次のような効果があるモノもあります。

吸水性の低下

撥水性を持つ

《柔軟剤の安全性》

柔軟剤は、4級アンモニウム塩から作られています。

4級アンモニウム塩には、殺菌作用があります。ですから、皮膚疾患や高齢者・乳幼児に対しての使用については、十分に考慮して下さい。

また、タオルで汗をふく実験の続きで、興味深い結果がありました。

柔軟剤をふつうに使用したタオルと、柔軟剤を2倍使用したタオルで汗をふき、その時の心拍間隔を測りました。

その結果、2倍の柔軟剤を使ったタオルでふいた方が、緊張度が高かったのです。

つまり柔軟剤は、多く使っても肌触りとしては、良くないということです。

柔軟剤は、用法・用量を必ず守りましょう。

《柔軟剤の種類》

あまり知られていないかも知れませんが、柔軟剤にも種類があり、使い方もちがうのです。

従来型柔軟剤

柔軟剤の親油基成分が、繊維の表面をおおうために、滑りが良くなり、ふんわりとしなやかな風合いになります。

しかし、親油基が表面をコートするために、水をはじきやすく、吸水性が低下します。ですから、Tシャツ・パンツなどには向きますが、タオルなどには不向きです。

{バウンス・ファファなど}

高吸水型柔軟剤

親油基に、水のおおる隙間が出来るために、水分の吸収がよい柔軟剤です。

{ソフト&ドライなど}

良分解型柔軟剤

オールマイティな柔軟剤で、一般的に最もよく使われている柔軟剤です。

{ハミング・ソフランなど}